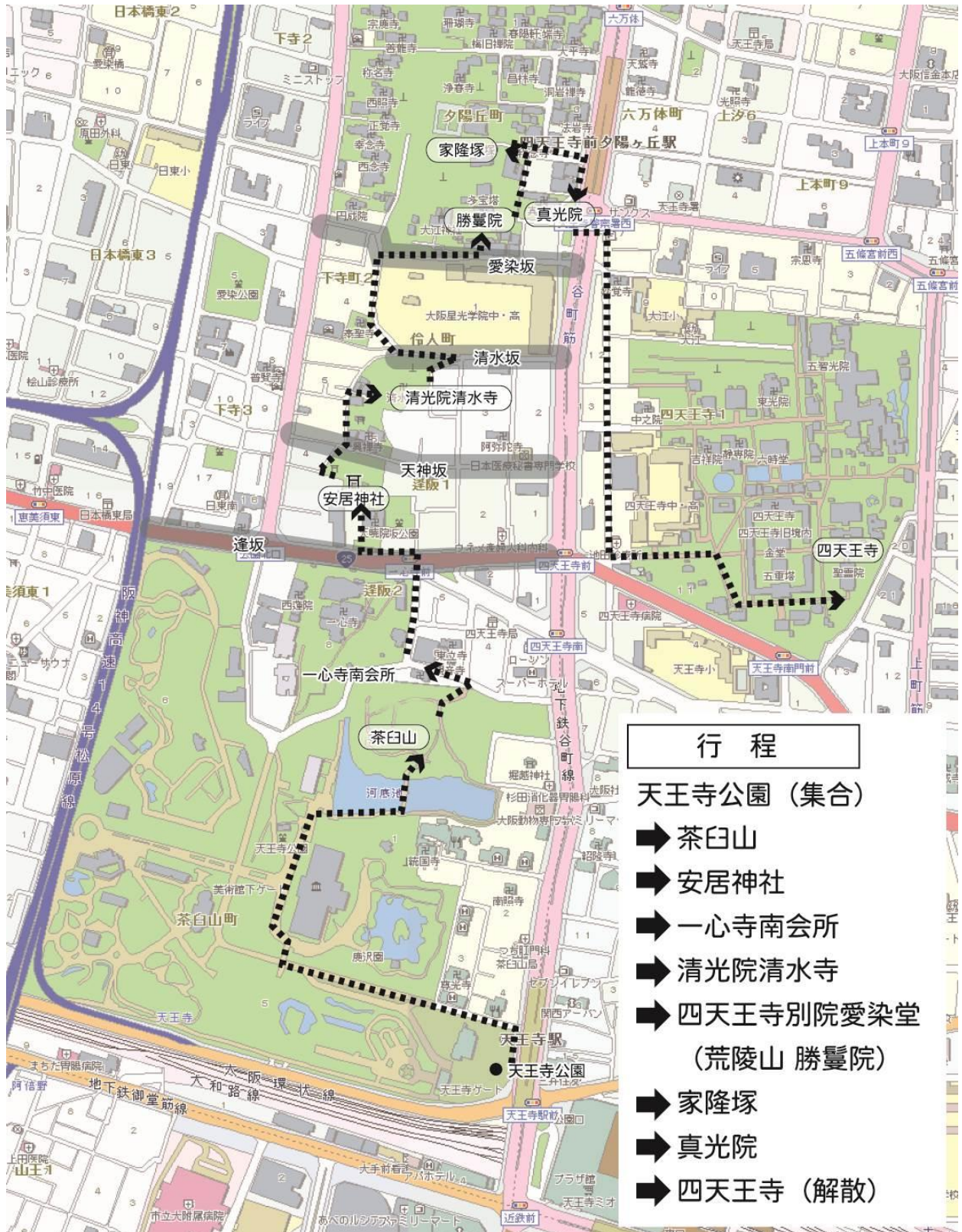




てんのうじ知りたいウォーク第6弾

「温故知新・天王寺古戦場とその界隈を訪ねて」

日時 平成27年4月19日(日) 13時15分受付開始 13時30分催行
 主催 てんのうじ知りたい倶楽部(旧未来わがまち会議)
 協力 天王寺区役所



○天王寺公園

上町台地の西端に位置し、総面積約28万平米。1903年第5回内国勸業博覧会が開かれ、1909年会場跡地の東側を整備し「天王寺公園」が開園する。1914年住友家の本邸が鰻谷から茶臼山に移転する。1915年国内3番目の大阪市天王寺動物園が開園（今年100周年）1918年住友家本邸内に庭園「慶沢園」が完成。1921年住友家が美術館建設を条件に、茶臼山の本邸寄付を大阪市に打診。1925年住友家の本邸が神戸市東灘区に移転する。1936年旧住友家本邸跡地に大阪市立美術館が開館、慶沢園も解放。2014年10月30日近畿日本鉄道が公園管理運営者になる。2015年4月1日条例改正により無料、慶沢園は有料となる。

○茶臼山

周辺一帯は天王寺公園で、公園と茶臼山の河底池に和気橋が架かる。延暦7年(788)に和気清麻呂が、大和川の水運のために上町台地を開削しようとして失敗した跡地とも言われる

○茶臼山・大坂の陣茶臼山史跡碑

史跡碑は同園近くの一心寺が寄贈したもので、大坂の陣400年記念モニュメントとして設置された。「沸騰する波型」のイメージで「群雄割拠」を象徴し、その上部の大きな円形の碑は、「群雄割拠」から統一が実現され「天下泰平」につながるということを象徴している。茶臼山(古墳)が大阪府指定史跡のため、地下を掘削しないよう横長の形状にしている。



○坂松山高岳院 一心寺：浄土宗（本尊：阿弥陀如来）

法然上人が文治元年(1185)慈鎮(慈円)上人の招きにより、この地の4間4面の草庵にて日想観を修められました。たまたま四天王寺に参詣されていた、後白河法皇も床を共にされ三人で日想観を修められました。

一心寺の名は慶長元年(1596)本誓存牟上人が法然上人の旧跡を慕い1000日禁足、昼夜不眠の念仏を修め再興したことにより名付けられました。納骨の寺として全国的に知られ、納められた骨によって10年ごとに阿弥陀佛が作られています。平成19年4月13期佛の開眼法要が行われました。



○一心寺南会所

多様な活動(コンサート・展示、展覧会・講演会・研究会など)が行われている。使用は無料で、1日～5日以内でお借りできる。

○安居神社(やすいじんじゃ)

神社は、茅渟の海(大阪湾)を遥かに見下ろす景勝の地に在る。その創建の年代は古文書の散佚せるため詳らかではないが、聖徳太子が四天王寺を建てられた頃であろうと伝えられている。

御祭神 少彦名神(スクナビコナ)菅原道真公。この道真公が、筑紫に左遷され給う道すがら当境内にしばし安居(やすい)された(憩われた)という旧址の縁を以て、公の死後四十年を経て天慶五年(西暦九四二年)ここにその神霊を合祀され給うたことはいみじくも畏いかぎりである。古来七名水と言われた安居の清水(かんしずめの井)の址がある。石材を切り出した鳥居があり、なぜか一文字のみ左右逆の鏡文字で掘られている。

